

# 平成 25 年度 第2回訪問介護事業者連絡会 研修会アンケート結果

## 「対人援助技術 関係性の支援」

平成 25 年6月10日（月）

参加事業所	参加者人数	回収枚数
25事業所	46名	40枚

### 1. 役職について教えてください（複数回答）

管理者	サ責	ヘルパー	その他	合計
14	21	16	1	53

※その他・・・生活相談員

### 2. 本日の研修会は参考になりましたか？

とても参考になった	参考になった	参考に ならなかった	どちらとも 言えない	合計
25	15	0	0	40

### 3. 今後の研修会にも参加したいと思われませんか？

参加 したい	参加 したくない	どちらとも 言えない	その他	合計
36	0	4	0	40

※今回無回答がありませんでした。

#### 4. 今後の研修会で、どのようなテーマ・内容をご希望されますか？

- コミュニケーション技術・向上方法・・・③
- 対人援助・(今少し具体的に聞きたかった)・・・③
- 接遇・・・②
- 利用者が自分の意思が伝えられない時の手段など(文字盤使用など)
- 良い人間関係を構築する為の学び
- ご家族の立場(心境)を知る
- 鎌倉市では、息子さんと介護者という家族が多くなっているように感じます。このようなケースについて情報をかわせたら。
- 仕事や遠方を理由に殆ど介護に参加しないで細かい要望とクレームをつける家族への対応
  
- 認知症・重度認知症・身体的にお元気な認知症・・・④
- 認知症(体は動けるが)の方への対応
- 身体や認知の状態に合わせた経過観察→視点など
- 鬱の人へのケア対応(依存が多い)
- 自閉症の方とのコミュニケーション・自閉症について
  
- 四肢麻痺の方のケアについて
- 身体介助・身体的な介護技術・介護技術・半介助方法・・・④
- 自らが腰痛にならない為の介助方法を具体的に知りたい
- 利用者体験をして、よりストレスの少ない介助方法を学ぶ
  
- 介護食(食材・調理法)詳しく知りたい
- 調理

## 5. その他、どのような事でもよいので、本日の感想をお願いいたします

- とても分かりやすく楽しく、参加できました。分かり易く勉強になりました。⑦
- 体験が多く分かりやすかったです。体験できた事が何より参考になりました。実際に体を使った研修なので分かり易かったです。⑥
- 知らず知らずに引き込まれて、楽しんで学べました。とても楽しく為になった。②
- 小川先生の姿勢の良さに感動しました。先生の笑顔が緊張を解く。②
- 一番勉強になったのは、先生の話し方です。伝え方、説明の仕方、勉強になりました。
- キネステティックにも興味を持ちました。
- いつものキネステとは一味違って興味深かった。
- 今後に生かしたい
- 今まで気が付かなかった視点での介助方法が学べた。
- 時間・空間・力 この3つが関わり、大いに参考にします。
- 介助する際に必要な「空間」の大切さを改めて学びました
- 時間と空間と力があれば、スムーズに介助、移動が楽にできる。意識を持って、コミュニケーションをとる事と相手に伝わるし、相手はどの感覚ができるのかそこまで考える事。
- 身体の動きを察する事。自分で勝手に動いてはダメだという事。相手の動きで、一緒に動くという事。改めて勉強しました。
- 動き方が相手に与える感覚を理論手に体験でき、とてもよかった。
- 相手の事を思って、介助していると思っていたが、相手の動きに合わせた介助ができるようになりたいと思いました。その人に合った、合わせた介助を常に考えられるようになりたいと思いました。
- 常にリラックスして、利用者様に対応し、個々の特徴を生かしながら介護する事を心にとめていきます。
- 緊張していると相手にも伝わる。いかにリラックスした雰囲気相手に安心感を与える事の大切さを学びました。
- 相手に対する介助とは不安や恐怖心を与えないように配慮する事が理解できた。今後の対人関係の援助に取り込む意識を持つことができました。
- とても分かり易く、良い体験でした。ヘルパー会議や研修でも行ってみたいと思いますが、実技の際に細かくメモが取れなかったのが残念です。能力と老化で覚えていられません。
- 今日は、ヘルパーにぜひ出席してほしいので事業所はヘルパーにも声を掛けたら良かったと思いました。ヘルパーの質も高まる。

- 初対面の方々と同じ研修を受けて、情報交換もできました。
- 参考になったが、お知らせの内容の対人援助技術とは違ったような気がする
- 体験が大事なのはわかりましたが、どなたかと組んで・・・とか、身体を動かすのは少々辛かったです。
- 大変楽しく参加させていただきました。利用者のご家族が同業者として同じ研修に参加していた場合の距離の置き方に悩みました。

**6. 訪問介護事業者連携事業を企画しています。  
事業者間で連携をとって解決していきたい課題や連携のアイデア等どんな事でもよいのでお願いいたします。**

- 人材不足解消
- サ責や相談員など事業所間のメール（携帯）活用・早期対応
- 利用者の不満の中で、他事業所の場合連携しにくく思います。  
例えば、時間通りに来てくれない。利用者との意思疎通ができていないなど。
- 訪問依頼時の協力体制がとれるか否か
- 色々な事例が聞きたい
- ヘルパー資格保持者に対して、在宅ヘルパーの楽しさ、やりがい・明るいイメージ等をアピールして、人材確保につなげていければ。
- 民生委員さんとの顔合わせ・話す場